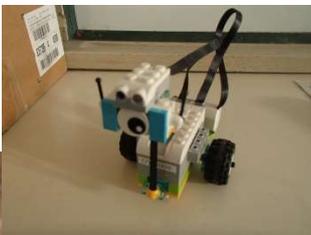


# 小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。  
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 学習活動名                                | 作ってあそぼう（生活科）  |
| 学年                                   | 小学校2学年  |
| 目標                                   | ゴールに向かって走らせるための命令を考え、ロボットカーを走らせる。   |
| 教材タイプ                                | ビジュアル言語   |
| 使用教材                                 | Wedo2.0   |
| 環境                                   | 児童2～3人で2台のタブレットとロボット2台を配備   |
| 都道府県                                 | 静岡県   |
| 実施校                                  | 小山町立明倫小学校   |
| 学習活動の概要・児童の様子（プログラミングの活動を中心に記載ください。） | <p>①ねらい<br/>生活科におけるおもちゃ作りの延長として、電気で動くおもちゃ（レゴの Wedo2.0）を組み立て、スタートからゴールへ向けて動かす遊びを考える。</p> <p>②授業の実際<br/>ロボット組み立て後、直進、後退のプログラムを学習した。その後、直進のみのコースでロボットカーを動かした。<br/>発展課題として、右折してゴールするコースに挑戦した。Wedo 1 台だけでは右折できないため、2台を連結した。一方を前進、もう一方を停止または後退することで、進む方向を変えることができる。どうすれば、右折できるかをグループで考え、ゴールを目指した。</p>    |
| 成果と課題                                | <p>成果：子どもたちはロボット操作に意欲的であり、プログラミングや命令ブロックの意味もわかっていた。グループごと、タブレットを操作する人、ロボットを設置する人など相談しながら動かすことができた。</p> <p>課題：低学年で行うプログラミング教育としては、かなり高水準な内容であり、グループ活動の指示と練習に時間がかかった。</p>   |